

RECITAL

富田 樹

オルガン名曲決定版 2025

オルガンリサイタル

J.S.バッハ:

幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 「大フーガ」

J.S.バッハ:

「G線上のアリア」 BWV1068-2 (オルガン版)

D.ブクステフーデ:

前奏曲 ハ長調 BuxWV137

G.ベーム:

コラール「天にましますわれらの父よ」

W.A.モーツァルト:

自動オルガンのためのアンダンテ K.616

L.ボエルマン:

オルガンのための「ゴシック組曲」 op.25

KAZUKI TOMITA

2025 11.9 (日) 14:00 開演 (13:00 開場)
全席指定 3,300円 (税込)

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド

■ E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 56976]
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 295-452]

公演の詳細は
こちら▶▶▶



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

KAZUKI TOMITA

Message

今年もザ・シンフォニーホールのパイプオルガンを演奏する機会を頂き、皆さんに数々の名曲をお届けできることを嬉しく存じます。楽器の女王とも呼ばれるパイプオルガンは紀元前3世紀からその起源を持ち、人の心を惹きつけ、2000年以上にわたり親しまれてきました。初めは娯楽の一つとして、その後は神を賛美する楽器として発達し、他のどの楽器よりも長く、人間の感情や思いに寄り添ってきたのです。その魅力の秘密は、まるでオーケストラのように響く音色にあります。無数のパイプを駆使することで、金管楽器のような華やかさ、木管楽器のような軽やかさ、そして弦楽器のような温かさを持ち、その多彩さはどの楽器と比較しても及びません。それこそが、この楽器の最大の魅力であり、皆さんに味わっていただきたい醍醐味といえます。本公演で演奏するプログラムは、どれも音色を意識した選曲で、パイプオルガンの豊かな表現力を感じていただけます。その奥深い音色の世界はまさに非日常的な響きであり、皆さんの心に訴えかける特別なひとときとなるでしょう。皆さんのご来場、心よりお待ちしております。

富田一樹

ORGAN RECITAL

富田一樹 [パイプオルガン] Kazuki TOMITA, Organ

大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。リューベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。ライブツィヒ第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック・クラブ賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」「大阪文化賞」等を受賞。MBS毎日放送ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に出演。バロック音楽を得意とし、山田和樹、飯森範親などの指揮者と共演、国内外のオーケストラや演奏会に数多く出演。神戸女学院大学非常勤講師。(一社)日本オルガニスト協会会員。

オフィシャルサイト：<https://kazukitomitaorg213.wixsite.com/home>

幻想的な世界が広がる

ザ・シンフォニーホールのパイプオルガン

ザ・シンフォニーホールの舞台正面に厳かに佇むパイプオルガンは「本格的なコンサートホールには、ヨーロッパの伝統的なパイプオルガンが欠かせない」という強い想いのもと、スイスの名門オルガンビルダー「クーン社」によって生み出されました。透明感のある明瞭な音の特徴で、3,732本のパイプから成り、3段の手鍵盤と低いパイプを鳴らす足鍵盤、音色を調整する54のストップがあります。オルガニストの感性、音楽解釈によって、様々な音色が組み合わせられていきます。残響2秒というクラシック音楽にとって最適といわれるザ・シンフォニーホールの豊かな響きの中に広がるパイプオルガンの音色は、まるで巨大な楽器の中にいるかのような壮大で幻想的な世界へ誘ってくれます。

